

# 議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1324 2015年 9月13日発行

## 日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は 9月17日(木)です

午後5時～6時 (要予約)

## 平塚市議会9月定例会に 提出された議案等について

平塚市議会9月定例会提出されている議案や報告の一部を下記に記載します。

### ○認第1号・第2号

平成26年度平塚市一般会計・特別会計決算  
及び平成26年度平塚市民病院事業会計決算

平塚市議会では、決算特別委員会を設置し、各会派より選出された委員が審議します。今年度は、9月29日(火)～10月1日(木)の3日間を予定しています。高山議員が委員です。

### ○報告第10号

継続費の清算報告について

年度を超えて継続していた事業で、平成26年度で終了した事業費のまとめです。

議場・委員会室システム整備事業

H24～H26 14,595,000円

防災行政通信網移設事業

H25～H26 25,056,000円

市民プラザ改修事業

H25～H26 21,810,600円

交差点改良事業(後谷八幡裏線・駅前通り線)

H25～H26 134,994,600円

地区公民館整備事業(大野公民館)

H25～H26 389,498,400円

### ○報告第11号

健全化判断比率について

地方公共団体の財政の健全化の状況、法律で義務付けられています。

比率区分	本市の比率	早期健全化比率
実質赤字比率	—	11.29%
連結実質赤字比率	—	16.29%
実質公債費比率	2.3%	25.0%
将来負担比率	0.5%	350.0%

財政は健全な状態にあると言えます。

### ○報告第12号

公営企業の資金不足比率について

公営企業の財政の健全化の状況、法律で義務付けられています。

会計名称	本市比率	経営健全化基準
病院事業	—	20.0%
水産物地方卸売市場	—	
下水道事業	—	
農業集落排水	—	

各公営企業ともに資金不足は算定されていません。しかし、市民病院は新棟建て替えに伴い、騒音や振動、利用しにくさなどで来院者の減少により、医療機器購入返還金に資金不足が発生して、市財政より平成26年度5億円、平成27年度～平成29年度までの3か年間で年間10億円合計35億円の長期借入を行うことになりました。



### ○議案第72号

平塚市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例

番号法施行に伴い、地方公共団体(自治体)が個人番号の利用範囲や提供範囲を規定するための条例を策定するものです。

議員団は、プライバシー侵害・なりすまし、社会保障費の削減の恐れなど問題が多く、実施自体に反対しています。

### ○議案第73号

平塚市下水道事業の設置等に関する条例

下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用するため必要な条例を制定するものです。

### ○議案第74号

平塚市一般職員の再任用に関する条例及び平塚市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員共済組合年金が廃止され民間企業と同じ厚生年金に統一されるための必要な条例を制定するものです。

### ○議案第75号

平塚市特別職員の給与に関する条例及び平塚市教育委員会教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例(案)について

市長、副市長、教育長、常勤の監査委員及び病院事業管理者の給与月額を特例に減額するものです。

	減額率	期間
市長	100分の10	H27.10.1～H31.4.29
副市長	100分の7	H27.10.1～H31.4.29
教育長	100分の5	H27.10.1～H28.9.30
病院管理者	100分の5	H27.10.1～H30.3.31
監査委員	100分の5	H27.10.1～H29.12.19

### ○議案第76号

平塚市手数料条例の一部を改正する条例

番号法施行に伴い、個人番号カード及び通知カードの再交付に係る手数料の規定を新設するものです。初回発行はいずれも無料です。議員団は実施に反対しています。

個人番号カード	800円
通知カード	500円

### ○議案第77号

平塚市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

平成27年度実施に向けて、通院に係る医療費助成の対象となる小児の範囲を中学3年生まで拡大するための条例を制定するものです。議員団長年の要望が実現しました。

### ○議案第86号

平塚市一般会計補正予算

歳入歳出とも924,611千円増額し、予算総額では82,098,630千円となります。

※主な補正項目

番号法関連	11,188千円増
個人番号カード交付に係る経費等	
ツインシティ整備事業	441,007千円増
組合施行等整備助成負担金等	

# 2014年度 平塚市決算関係資料



## 決算一歳入総額と地方税(その内訳)

(単位:千円, %)

	2010年度	構成比	2011年度	構成比	2012年度	構成比	2013年度	構成比	2014年度	構成比
歳入総額	79,287,866		78,629,474		87,956,207		83,865,830		86,297,667	
《地方税》	43,231,449	54.5	42,198,728	53.7	42,580,162	48.4	42,878,914	51.1	43,281,420	50.2
市町村民税	19,126,622	44.3	17,714,459	42.0	19,049,666	44.7	19,061,822	42.0	19,438,899	44.9
(個人分)	14,978,802	34.7	14,782,683	35.0	15,275,040	35.9	14,782,683	35.0	15,186,385	35.1
(法人分)	4,147,820	9.6	2,931,776	7.0	3,774,626	8.8	2,931,776	7.0	4,252,514	9.8
固定資産税	19,513,487	45.1	19,643,889	46.5	18,805,175	44.2	19,643,889	46.5	18,968,504	43.8
軽自動車税	275,241	0.7	282,634	0.7	291,733	0.7	282,634	0.7	310,978	0.7
たばこ税	1,660,532	3.8	1,888,685	4.5	1,851,877	4.3	1,888,685	4.5	1,954,524	4.5
特別土地保有税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
目的税	2,655,567	6.1	2,669,061	6.3	2,581,711	6.1	2,669,061	6.3	2,608,515	6.1
(都市計画税)	2,655,567	6.1	2,669,061	6.3	2,581,711	6.1	2,669,061	6.3	2,608,515	6.1
(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○歳入総額はその年度の普通会計収入の全体です。

○《地方税》は歳入総額の中での金額とその割合です。

市町村民税以下は《地方税》の内訳としての金額と割合です。

○2010年～2014年までの5年間を記載。地方税は金額では2012年から増加に転じているものの、その割合は54.5%から50.2%に約4%の減少となっています。

○2014年度は新庁舎建設事業及び市民病院新棟整備事業などに係る市債や国庫支出金の増加により、歳入総額で昨年より2.9%増加し、過去2番目に高い財政規模となっています。

## 平塚市の財政力指数及び経常収支比率の推移

年度	財政力指数	経常収支比率
2010年度	1.075	92.3
2011年度	1.013	92.4
2012年度	0.963	92.0
2013年度	0.960	91.4
2014年度	0.961	93.6

## 財政力指数県内他市との比較(3年平均)

平塚市	0.961	茅ヶ崎市	0.934
横須賀市	0.800	秦野市	0.896
鎌倉市	1.011	厚木市	1.076
藤沢市	1.030	大和市	0.954
小田原市	0.952	伊豆市 (友好都市)	0.567

## 経常収支比率県内他市との比較

平塚市	93.6	茅ヶ崎市	98.4
横須賀市	97.2	秦野市	93.9
鎌倉市	93.8	厚木市	94.2
藤沢市	92.6	大和市	94.4
小田原市	90.8	伊豆市 (友好都市)	82.2

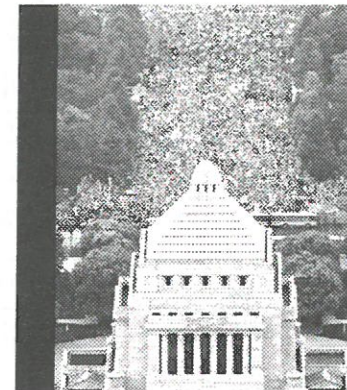
財政力指数は、自治体の財政上の能力を示す指数で、この指数が「1」に近いほど財政力が強いと見ることができます。「1」を超えると超えた分だけ余裕財源を保有していることとなります。単年度が「1」以下の場合には地方交付税の交付団体となります。平塚市は2011年度から地方交付税の交付団体となりました。2014年度は県内では鎌倉市・藤沢市・厚木市の3自治体で1を超えています。神奈川県は自治体の財政力が高く、全国でも財政力指数の高い自治体が多いのが特徴です。

経常収支比率は数値が大きいほど固定した支出が多く財政が硬直化していると言えます。平塚市は県内で3番目に低い数値となっています。

## 戦争法案は廃案しかない！



国会を取囲む廃案の人の波 8/30



参議院での戦争法案の審議が大詰めを迎えています。来週16日にも強行可決を狙っています。

NNN(日本テレビ)が9月初めに行ったアンケートによると戦争法案を今国会で成立させることを「よいと思わない」という意見が前月より7.8%増えて65.6%になりました。「よいと思う」は5.0%減って24.5%とのことです。審議をすればするほど反対の声が高まっています。

9月5日(土)平塚駅前100人を超える市民が集まり「戦争法案廃案！」の声をあげました。議員団も参加しました。  
 9月11日(金)平塚駅北口宣伝 PM5時～  
 9月13日(日)原子力空母ロナルド・レーガンは来るな！横須賀集会 PM1時～  
 9月14日(月)戦争法案廃案！安倍政権退陣！  
 9.14国会包囲行動 PM18:30～

